



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 ダイビル株式会社

コード番号 8806 URL <http://www.daibiru.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 山本 竹彦

問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長

(氏名) 林 洋一

TEL 06-6441-1933

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,263	△3.6	7,768	△1.1	6,969	1.3	3,401	38.1
23年3月期第3四半期	26,205	3.5	7,854	8.7	6,881	6.6	2,463	△24.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,673百万円 (204.3%) 23年3月期第3四半期 1,207百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	29.16	—
23年3月期第3四半期	21.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	293,577	117,580	39.6
23年3月期	291,666	115,189	39.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 116,281百万円 23年3月期 113,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
24年3月期	—	5.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△2.4	10,000	△2.8	8,700	△2.2	4,500	21.4	38.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	116,851,049 株	23年3月期	116,851,049 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	218,749 株	23年3月期	218,537 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	116,632,373 株	23年3月期3Q	116,633,308 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから一部持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。また、円高・株安の進行や欧州の政府債務危機に伴う海外経済の減速懸念等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

オフィスビル業界におきましては、依然として主要都市の空室率が高止まりで推移し、賃料水準も弱含みの状況が続いております。

こうした状況の下で、当社グループは積極的な営業活動を展開する一方、既存ビルのリニューアル工事を実施するなどテナントサービスの一層の向上に努めました結果、全体として高水準の入居状況を確保することができました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①土地建物賃貸事業

既存ビルの一部における賃料低下の影響等により、売上高は19,445百万円と322百万円（前年同期比1.6%）の減収となりました。費用面では、前連結会計年度に取得した「青山ライズスクエア」の固定資産税負担が新たに発生等いたしました。減価償却費が減少したこと等により、営業利益は8,175百万円と95百万円（前年同期比1.2%）の増益となりました。

②ビル管理事業

大口受託契約の解約の影響等により、売上高は5,528百万円と614百万円（前年同期比10.0%）の減収となり、営業利益は405百万円と153百万円（前年同期比27.5%）の減益となりました。

③その他

不動産仲介収入の減少等により、売上高は288百万円と5百万円（前年同期比1.7%）の減収となり、営業利益は103百万円と7百万円（前年同期比6.5%）の減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は25,263百万円と941百万円（前年同期比3.6%）の減収、営業利益は7,768百万円と85百万円（前年同期比1.1%）の減益となりました。

営業外損益では、その他の営業外費用が減少したこと等により、経常利益は6,969百万円と88百万円（前年同期比1.3%）の増益となりました。

なお、特別損益としましては、当第3四半期連結累計期間は特別損失として建替関連損失、投資有価証券評価損および固定資産除却損計1,103百万円を計上いたしました。一方、前年同期は特別利益として投資有価証券売却益および固定資産売却益計1,175百万円、特別損失として建替関連損失、投資有価証券評価損および固定資産除却損計3,631百万円を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の純利益は3,401百万円と938百万円（前年同期比38.1%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,911百万円増加し、293,577百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（6,131百万円）、ダイビル本館新築工事に伴う建設仮勘定の増加（2,070百万円）、減価償却による建物及び構築物の減少（3,841百万円）、株式市場の下落等に伴う投資有価証券の減少（2,435百万円）等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて479百万円減少し、175,997百万円となりました。有利子負債の増加（2,547百万円）、繰延税金負債の減少（1,221百万円）、再評価に係る繰延税金負債の減少（1,322百万円）等が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて2,390百万円増加し、117,580百万円となりました。利益剰余金の増加（2,118百万円）、土地再評価差額金の増加（1,322百万円）、その他有価証券評価差額金の減少（1,120百万円）等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月28日公表の数値を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,278	10,410
営業未収入金	715	741
たな卸資産	27	25
繰延税金資産	273	167
その他	146	187
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	5,435	11,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89,487	85,645
土地	147,887	148,125
信託土地	31,231	31,231
建設仮勘定	1,031	3,101
その他(純額)	852	746
有形固定資産合計	270,490	268,851
無形固定資産		
のれん	3	1
その他	127	112
無形固定資産合計	130	114
投資その他の資産		
投資有価証券	13,713	11,277
繰延税金資産	65	59
その他	1,848	1,766
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	15,609	13,086
固定資産合計	286,231	282,052
資産合計	291,666	293,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	2,830	2,755
コマーシャル・ペーパー	8,500	13,500
未払法人税等	884	1,241
役員賞与引当金	54	—
その他	3,587	3,274
流動負債合計	15,857	20,771
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	49,068	46,690
受入敷金保証金	26,560	26,058
繰延税金負債	3,263	2,042
再評価に係る繰延税金負債	10,660	9,338
退職給付引当金	675	700
役員退職慰労引当金	361	364
その他	29	30
固定負債合計	160,619	155,226
負債合計	176,476	175,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,227	12,227
資本剰余金	13,852	13,852
利益剰余金	73,897	76,015
自己株式	△141	△141
株主資本合計	99,836	101,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,567	3,447
土地再評価差額金	9,557	10,879
その他の包括利益累計額合計	14,124	14,326
少数株主持分	1,227	1,298
純資産合計	115,189	117,580
負債純資産合計	291,666	293,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	26,205	25,263
営業原価	16,257	15,353
営業総利益	9,947	9,910
販売費及び一般管理費	2,093	2,141
営業利益	7,854	7,768
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	350	363
その他	58	63
営業外収益合計	413	429
営業外費用		
支払利息	1,206	1,205
その他	178	23
営業外費用合計	1,385	1,228
経常利益	6,881	6,969
特別利益		
投資有価証券売却益	998	—
固定資産売却益	177	—
特別利益合計	1,175	—
特別損失		
建替関連損失	3,357	983
投資有価証券評価損	253	116
固定資産除却損	19	3
特別損失合計	3,631	1,103
税金等調整前四半期純利益	4,426	5,866
法人税、住民税及び事業税	1,236	2,306
法人税等調整額	620	87
法人税等合計	1,856	2,394
少数株主損益調整前四半期純利益	2,570	3,472
少数株主利益	106	70
四半期純利益	2,463	3,401

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,570	3,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,362	△1,120
土地再評価差額金	—	1,322
その他の包括利益合計	△1,362	201
四半期包括利益	1,207	3,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,100	3,602
少数株主に係る四半期包括利益	106	70

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	土地建物 賃貸事業	ビル 管理事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,768	6,142	25,911	293	26,205	—	26,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	1,293	1,360	0	1,360	△1,360	—
計	19,835	7,436	27,271	293	27,565	△1,360	26,205
セグメント利益	8,079	559	8,639	110	8,749	△895	7,854

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事請負、工事管理、不動産仲介等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△895百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△895百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社人事総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	土地建物 賃貸事業	ビル 管理事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,445	5,528	24,974	288	25,263	—	25,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	1,304	1,375	0	1,375	△1,375	—
計	19,517	6,833	26,350	288	26,639	△1,375	25,263
セグメント利益	8,175	405	8,581	103	8,684	△915	7,768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事請負、工事管理、不動産仲介等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△915百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△919百万円等であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社人事総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。